



赤羽だより

1月号



平成31年1月8日(火)

港区立赤羽小学校

応援を力に変えて

校長 宮崎 直人

新年明けましておめでとうございます。昨年は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。また、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。

今日から3学期が始まり、にぎやかな声が学校に戻ってきました。子供たちが登校し、元気に挨拶をする姿や子供たちの生き生きとした表情から、充実した冬休みを過ごすことができたのではないかと思います。

今年は、ラグビーのワールドカップが、初めて日本で開かれます。そして、来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。これから、アスリートの人たちを応援する機会がますます増えてくるのではないかと思います。

さて、昨年の12月2日に「MINATOシティハーフマラソン2018」を走りました。子供たちや保護者の方々、地域の方々等から声を掛けていただいたことで、何とか完走することができました。応援が力になるということを実感しました。また、今年の1月2日には、平塚中継所の近くの沿道で「箱根駅伝」の選手を応援しました。各大学の代表選手の一生懸命に走る姿に感銘を受けました。

学校においても、運動会や学芸会など様々な機会に、子供たち同士で応援し合ったり、保護者の皆様や地域の皆様に応援していただいたりすることが、子供たちにとって大きな力になっていると思います。昨年の10月に行われた連合運動会では、6年生が赤羽小学校はもちろんのこと、他の学校の人たちを大きな声で応援する姿に感心しました。子供たちは、応援する楽しさや応援される喜びを感じていたのではないかと思います。

元プロテニスプレーヤーで、テレビ等で活躍している松岡修造さんは、「応援」について次のように述べています。

「応援の素晴らしいところは、自然発生的に起こるところだと思います。人は、頑張っている人や全力を尽くしている人を応援したくなるものです。」

「応援には、2種類あります。『勢いの応援』と『共感の応援』です。『勢いの応援』とは、元気のある選手や、絶好調のチームや選手に対して向けられることが多いものです。また、試行錯誤する選手の姿に『共感』し、応援したくなるのです。『勢いの応援』ではパワーと元気をもらい、『共感の応援』では、勇気と希望をもらうのです。」

さらに、「最大の応援は『自分で自分を応援すること』であり、「自分を信じ、応援することは、『今ここにあること』に全力を尽くすこと」と述べています。

これらのことは、子供たちの日々の学習や生活に通じるものがあります。今、やるべきことに全力で取り組むことによって、「自分を大切にする」という気持ちが生まれてくると思いますし、他の人の頑張る姿などから、元気・勇気・希望等をもらうことで、「他の人を大切にする」という気持ちも高まるのではないかと思います。

今年も、教職員一同、子供たち一人一人が笑顔に満ちあふれ、魅力と活力のある学校を目指して、様々なことに取り組んでまいります。そして、より一層、子供たちが、心から自分を「応援」し、他の人を「応援」することができるようにしたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様方におかれましては、本年も、本校の教育活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

3年 世界友達プロジェクト～キルギス共和国～

3年担任 神村 和輝・生井 滯・百瀬 天音

3年生は総合的な学習の時間にキルギス共和国について学びました。どの教科でもそうですが、学習との「出会い」はとても大切です。11月30日に講堂にて、キルギス大使館からマハバットさんとベイシャンさんに来ていただき、キルギス共和国についてお話をしていただきました。

「キルギス共和国はどこにあるのか」「どんな物を食べているのか」「どんな場所なのか」「どんな言葉を使っているのか」「どんな遊びがあるのか」などです。写真や映像を使って分かりやすく説明していただいたり、実際に遊ばせてもらったりして子供たちの興味・関心は高まりました。子供たちは「キルギス共和国についてもっと知りたい」という感情になり、とてもよい「出会い」ができました。

そこで、子供たち自身が知りたいことをグループになって調べ始めました。できたグループは「食事」「遊び」「歴史」「服」「世界遺産」「習慣」「生き物」「自然」「学校」などです。タブレットや本を活用して自分たちに必要な情報を取捨選択してまとめました。発表形式も様々で、プロジェクターを使って発表するグループ、紙芝居風に発表するグループ、劇をして発表するグループ、模造紙にまとめて発表するグループ、クイズを取り入れて発表するグループなどがありました。

キルギス共和国と出会い、自分たちで調べ、発表し理解を深めることができました。学習を終えて、子供たちの中には「キルギス共和国に行きたくくなりました。」と伝えてくれる子もいました。こういう事が大切なのだと思います。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックには、たくさんの外国人が来ます。自分の国の事はもちろん、他の国の文化や習慣を知っておく事も同様に大切だと思います。そのよいきっかけができました。



音楽鑑賞教室

音楽専科 上野 妙子

12月10日に、サントリーホールで、港区の小学校の5年生が一堂に会し、港区立小学校音楽鑑賞教室が行われました。東京交響楽団の演奏で、「運命」や「威風堂々」などのオーケストラの他、パイプオルガンなどを、生で鑑賞する貴重な経験となりました。

赤羽小学校の5年生も全員合唱「ビリーブ」のために、音楽の授業で、姿勢に気をつけながらまわりの歌声を合わせて丁寧に歌えるよう練習しました。当日は、オーケストラと5年生のさわやかな歌声が合わさり、サントリーホールに美しく響き渡りました。

「威風堂々」は、卒業式の入場曲として、5年生がリコーダー演奏をする予定です。



模擬裁判体験

6年担任 北原 武宏

12月14日に講堂で模擬裁判体験授業を行いました。今回は実際の弁護士の方に来ていただいて、裁判がどのような形で実施されているのか、模擬裁判を開いていただきました。

しかし、ただ単に見るのではありません。体験授業なので、裁判官・裁判員・検察官・弁護士・傍聴人に分かれて裁判を行ってもらいました。もちろん、いきなりやるのは難しいので、オリジナルのシナリオと台本を用意していただきました。体験授業が始まると、迫真の演技が見られ、「異議あり！」などドラマの一面を見ているような場面も多数ありました。

最後には、自分たちで判決を出しました。弁護士の方々も、判決が出るまでの様子を見て、大変すばらしいと褒めてくださいました。



TOKYO GLOBAL GATEWAY

6年担任 江原 美沙

12月21日にTOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)へ出かけてきました。TGGでは、子供8人に1人のNative speakerが付帯し、館内では英語を使ってコミュニケーションを取りながら様々な活動に取り組みました。

まず始めに体験したのは、アトラクションエリアです。今回はトラベルゾーンを体験しましたが、旅行代理店で旅行の計画を立てたり、カフェで軽食を注文したり、薬局で買い物をしたりと、日常的な場面でのコミュニケーションを取りました。

その次は、アクティブイマジネーションエリアでの活動です。コマ撮りグループとプログラミンググループに分かれて取り組みました。

子供たちの声

- ・球体を自分たちがプログラムした通りに動かせるのが楽しかったです。
- ・たくさん失敗したが、失敗の原因を考えて訂正しながら進むのが楽しかったです。
- ・自分たちでテーマを選んでオリジナルの物語を作るのがよかったです。
- ・英語のセリフを考えるのが楽しかったです。

どちらのプログラムも楽しめたようです。

学んだ英語を使って、身振り手振りを使いながらなんとか伝えようとする姿が見られました。

委員会紹介コーナー

代表委員会

代表委員会では、学校の代表として4年生から6年生の児童が学校をよりよくするために活動しています。後期は、現在の赤羽小学校の課題を話し合い、『時間を守ること』と『言葉遣いを丁寧にする』に絞って取り組むことにしました。3学期は具体的に取り組んでいきます。

体育委員会

後期の体育委員会の仕事を紹介します。朝マラソンの準備と準備運動、大縄大会の記録計測、そして3学期から始まる縄跳び月間の見本です。すでにどんな技を発表するかを体育委員会で決めました。体育朝会の発表に向けて練習に取り組んでいます。3学期も全校児童の体力向上を目指します！！

環境美化委員会

環境美化委員会では、ミックスペーパー集め・植物の水やり・ゴミ捨て場の管理など、子供達が清潔な学校生活を送る事が出来る様にお仕事を行っています。また、環境の事を考えて「みどりのカーテン」にも取り組みました。丁寧なお世話のおかげで、今年も大きなヘチマが沢山収穫出来ました。

書き初め会

国語科担当 宇佐美 真美

年の初めは、「書き初め会」から・・・ということで、12月から、それぞれのクラスで、練習を始めました。1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、それぞれ決められた題目を書きます。日頃にはぎやかなクラスも、書き初め練習の時には、心地よい静寂が訪れるものです。心を落ち着かせ、紙と向き合う貴重な時間を一人一人が楽しみつつ、1年の始まりにあたり、「素敵な1年になりますように」という願いも込めて、書き初め会を開催できればと願っています。子供たちの力作を鑑賞しに、15日(月)～25日(金)の書き初め展に、ぜひお越しください。お待ちしております。



漢字検定

検定担当 川口 伸吾

年が明けて、1月18日(金)に漢字検定が行われます。検定に臨む子供たちは、2学期のうちに、その学年の漢字の学習を終え、合格に向けて練習を繰り返しているところです。

それぞれの学年に目標としている級がありますし、さらに上の級に挑戦する子供もいます。全員が合格できるように、受検日まで練習に励んでほしいと思います。

受検級によって、下校時刻が違いますので、ご確認ください。

〈時程〉

開始時刻 13:30 (全級共通)

終了時刻 14:10 (8・9・10級)

14:30 (7・6・5・4・3・準2級)

〈漢字検定学年対応級〉

準2級…高校在学程度 (1940文字)

3級…中学卒業程度 (1607文字)

4級…中学在学程度 (1322文字)

5級…小学校6年生修了程度 (1006文字)

6級…小学校5年生修了程度 (825文字)

7級…小学校4年生修了程度 (640文字)

8級…小学校3年生修了程度 (440文字)

9級…小学校2年生修了程度 (240文字)

10級…小学校1年生修了程度 (80文字)

1月の生活目標

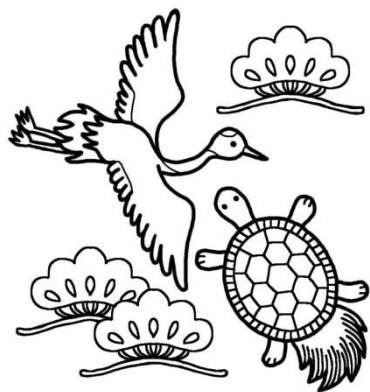
「落ち着いた生活をしよう」

生活指導部

平成最後の年、平成31年がスタートしました。校舎には年末年始の思い出をお土産に、子供たちの元気な声が戻ってきました。

さて、楽しい休みのあとは普段の日常が戻ってきます。非日常的な休業中の暮らしは、日常のありふれた生活をしっかり過ごすことで楽しい出来事となります。次の楽しい休みを迎えるためにも、日頃の生活を一日も早く取り戻さなくてはなりません。始業式をみるとまだ、眠そうな表情が見かけられます。年末年始の楽しい時間で乱れてしまった生活リズムを取り戻してほしいと思います。また、学校子供たちがしっかりと学習にとりくめるようにするためのいくつかの約束「学びのやくそく」や安全安心な学校生活を送るための「わたしたちの生活」のきまりがあります。きまりはちょっぴり窮屈ですが、400人弱の子供たちが生活する学校にとってなくてはならないものです。学校も決まりを守ることで成り立つ点では、私たち大人の社会となんら変わることはありません。

1月の生活目標は「落ち着いた生活をしよう」です。休みモードから通常モードへの切り替えをしっかりと行い、1年まとめの3学期をしっかりとスタートしてほしいと思います。



「本年もよろしくお願いいたします」

副校長 石渡 靖

それぞれの年末年始を過ごした子供たちが、学校に戻ってきました。1年間の最後の学期、3学期が始まります。「一月（いちげつ）往（い）ぬる、二月（にげつ）逃（に）げる、三月（さんげつ）去（さ）る」ということわざがあります。正月から三月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうという意味です。

3学期は、道徳授業地区公開講座、卒業式などをひかえています。56日間という短い授業日数の中で、子供たちには充実した日々を過ごし、各学年のまとめと、それぞれ一つ上の学年へ向けての準備を整えてほしいと願っています。

今学期も地域の皆様、保護者の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1月の行事予定

日	曜日	学校行事・予定等
1	火	元日
2	水	
3	木	
4	金	閉庁期間終
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	始業式 大掃除 4時間授業 12:00 下校
9	水	安全指導 給食始 計測(6年、ひまわり)
10	木	避難訓練 計測(1年)
11	金	計測(2年)
12	土	
13	日	
14	月	成人の日
15	火	計測(3年) 委員会 書き初め展始
16	水	計測(4年)
17	木	計測(5年)
18	金	漢字検定(5校時 全員受験)
19	土	授業参観(3・4校時)
20	日	
21	月	なわとび月間終 クラブ
22	火	
23	水	研究授業(4年1組のみ5時間授業)
24	木	
25	金	遠足(ひまわり) 書き初め展終
26	土	
27	日	
28	月	クラブ見学
29	火	
30	水	
31	木	

※ 天候等により、予定を変更することがあります。
詳しくは、学年だより・学級だよりをご覧ください。

